

高商連ニュース

高知県商工団体連合会 NO.1032(54-26)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ kosityoren.jp
このニュースはホームページでもご覧になれます



インボイス学習・対話を力に年末増勢をめざそう

■2022年 秋の運動 (仲間増やし)

11/27 現在	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸香美郡	3	0	0	0	0	3
南国高知	5	0	4	0	0	3
仁淀川	11	3	6	0	0	6
須崎	1	0	0	0	0	1
中村	2	0	1	0	0	1
計	30	6	15	0	0	19

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

さらに、年末(12月末)増勢めざす取り組みを続けます。多くの会員の参加、協力で前進をめざしましょう。



11月25日の高商連理事会で、秋の運動の取り組み、到達状況が報告され、「せめて、読者50人の拡大をしよう」と討議。香美郡から「5人は増やす」、中村から「4人は責任を持つ」等の決意が表明されました。秋の運動で拡大成果がなかった安芸民商は、役員、事務局の奮闘により1週間で読者3人を拡大。拡大ゼロ民商を解消しました。理事会後、高知、中村の役員が拡大するなど、やっと30人読者拡大に到達。(左表参照)

国民大運動 インボイス中止副知事交渉

11月29日、高商連も加盟する「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動高知県実行委員会が井上浩之副知事と交渉を行いました。この交渉は毎年この時期に行っているもの。

実行委員会の代表委員の一人、東谷高商連会長が会を代表してあいさつし、スタートしました。



高商連からは12項目の要求を出し、その内、次の2点で交渉しました。
①インボイス制度実施の中止と消費税減税を国に求めてください。
②県の基本姿勢として、インボイスを発行しない事業者、発行を望まない事業者とも今までどおり取引を継続してください。

共産党県議団の政府交渉で インボイス中止を訴え

高商連入江事務局長がオンラインで参加



日本共産党高知県議団は11月24日、対政府交渉をして、切実な県民要求の実現を迫りました。

要望は厚労、国交、財務など10省にあてた27項目。高知市議団も参加。高知からオンラインで実際に運動している人らが、要望に関わる県民の実態などについて発言しました。

財務省交渉では、参加者がインボイス制度の導入中止を求めたのに対し、担当者は導入しても大部分の業者は問題がない、9割方の業者は大丈夫だとするデータがあるなどと強弁。参加者は地方の小規模事業者や産直農家らが犠牲になると告発しました。担当者は対応策はないとのべました。

(11/26 しんぶん赤旗より引用)

副知事は、①については「消費税は社会保障の財源。インボイスは適正な課税に必要な制度で、激変緩和措置も講じられる予定で、要望には応じられない」と回答。

②については、「今までどおりで、新たな条件や制約を設けることはしない」ことを確認しました。入江高商連事務局長は、県の基本姿勢を県が関係する公社、団体、指定管理者等に早急に伝えることを求めました。

さらに、入江事務局長は「産直市場や道の駅でインボイスが発行できない制度上の仕組み(媒介者交付特例)については、理解していないように感じた。12月5日には、県教

旧統一協会の実体徹底究明！解散命令請求も！
国会議員のみならず県議会議員の癒着も根絶！
旧統一協会の反社会的行為を野放ししてきた現政権の責任を追求！

あなたも声をあげませんか！ スタンディングに参加を！！

日にち：12月3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)、31日(土)
時間：12:30~13:30
場所：はりまや橋交差点 南西角
主催：戦争させない・戦争に行かない高知憲法アクション

インボイス登録は、あわてないで！
9月30日までに申請すれば、「10月1日登録」になります。(国税庁回答)